

## 第1章. 中原区の概要

---

## 1-1. 中原区の位置

### 1. 広域的な中原区の位置づけ

- ・ 中原区は川崎市のほぼ中央部に位置し、北部は東京都世田谷区、東部は東京都大田区、南部は横浜市港北区、川崎市幸区、西部は川崎市高津区に接しています。
- ・ 中原区は古くから丸子の渡し場の宿場町と中原街道を中心に発達してきた地域です。その後、鉄道の発達により、大規模工場が立地し、鉄道沿線地域には宅地造成が進められ、人口が急速に増加し、かつて農村であった地域も市街地化してきました。
- ・ 現在では、東京への通勤者の住宅地、駅周辺の商業圏、区域に広範囲に広がる工業地域、果実や花の栽培を中心とした農地が存在し、居住と産業の均衡がとれた成熟した都市へと発展しています。
- ・ また、川崎市の地理的中心に位置することから、市全域を対象とした施設が置かれるなど、市中央部の交流地点としての役割と、東京・横浜への通勤圏としての位置づけをもっているといえます。

■ 中原区の広域的位置



## 2. 川崎市における中原区の位置づけ

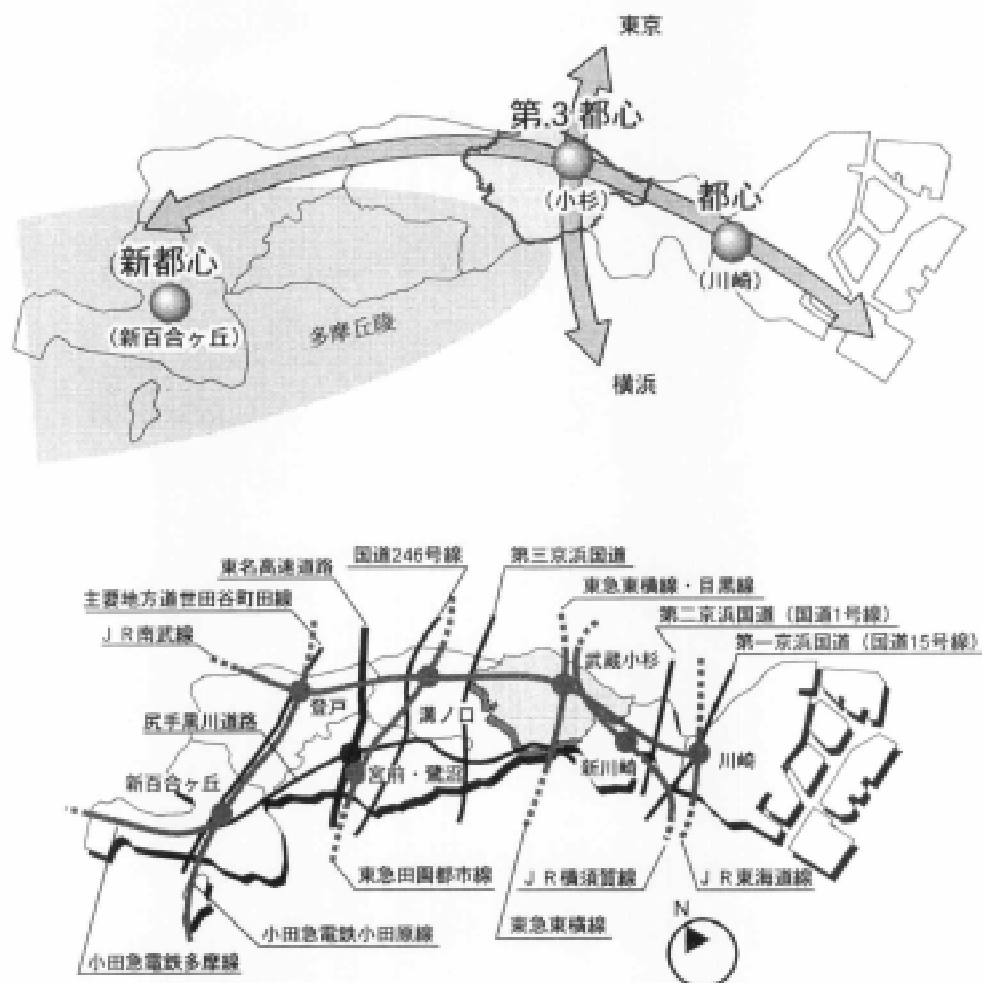
### (地勢)

- ・中原区は、北部から南東部にかけて多摩川に接し、南西部から南部にかけて、江川、矢上川に囲まれており、多摩丘陵の最東端に位置し、多摩川により形成された沖積平野の平坦地で形成されています。

### (位置)

- ・川崎市では、『川崎新時代2010プラン（総合計画）』において、多核的な都市構造を実現するため、市内に3つの都市機能拠点（都心・新都心・第3都心）を形成することがめざされています。東急東横線とJR南武線が交差する小杉駅周辺地区は、市の第3都心として、先端技術を中心とした研究開発・生産機能の高度化や、商業・業務機能等の集積を図るとともに、利便性の高い都市型住宅市街地における商業・レクリエーション等の複合した生活・文化のサービス都市機能拠点と位置づけられています。

■川崎市における中原区の位置づけ



## 1-2. 中原区の変遷

### (あゆみ)

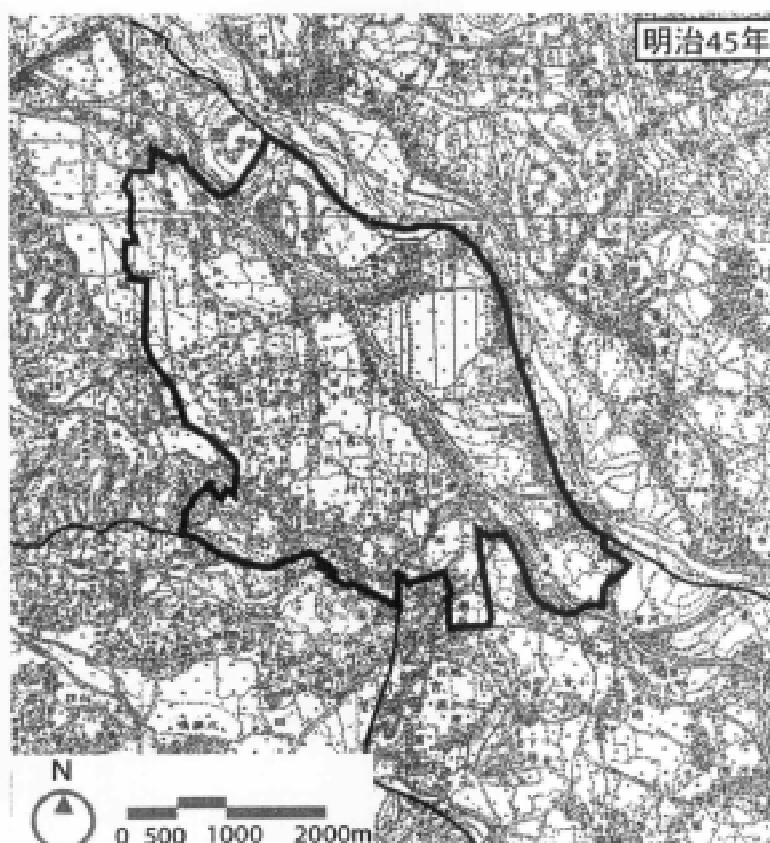
- ・ 中原区は、古く江戸時代から、泉沢寺の門前町、丸子の渡し場の宿場町として栄えてきた地域です。
- ・ 明治22年市制町村制施行に伴い、小杉村、上丸子村など6ヶ村が合併し中原村になり、一方、今井村、木月村、井田村など6ヶ村が合併し住吉村となりました。その後、大正14年に中原村、住吉村が合併し中原町制を施行、昭和8年に川崎市と合併した後、昭和47年に川崎市の政令指定都市移行に伴い、「中原区」が成立しました。
- ・ 大正15年には東京横浜電鉄（現東急東横線）が開通し、その後、南武鉄道（現JR南武線）が開通したことで東京への行き来が短縮されたため、東京圏に組み込まれ、住宅地が造成されていきました。また、鉄道によって大規模工場が進出し、かつては東横線の駅名に「工業都市」という名の駅があったほどでした。
- ・ 昭和39年、東海道新幹線が区を南北に貫通しましたが、これと同時に、周辺地の地価高騰を招くなどの弊害をもたらしました。さらに、昭和45年の多摩沿線道路、尻手黒川道路の開通により、交通の利便性が向上しましたが、逆に排気ガスなど交通による問題も増加していきました。
- ・ 高度経済成長に伴って住宅や大企業の社宅などが建設され、昭和44年には人口が20万8,000人になり最高に達しましたが、それ以降一度は減少に転じましたが、現在では増加傾向を示し、川崎市の中で、成熟した都市と位置づけられるようになってきています。

### (沿革)

- 中原区の区域は、中原村・住吉村で構成される。

### (土地利用)

- 中原街道沿いの小杉周辺に市街地が形成されている他は、農地でほぼ占められている。



(沿革)

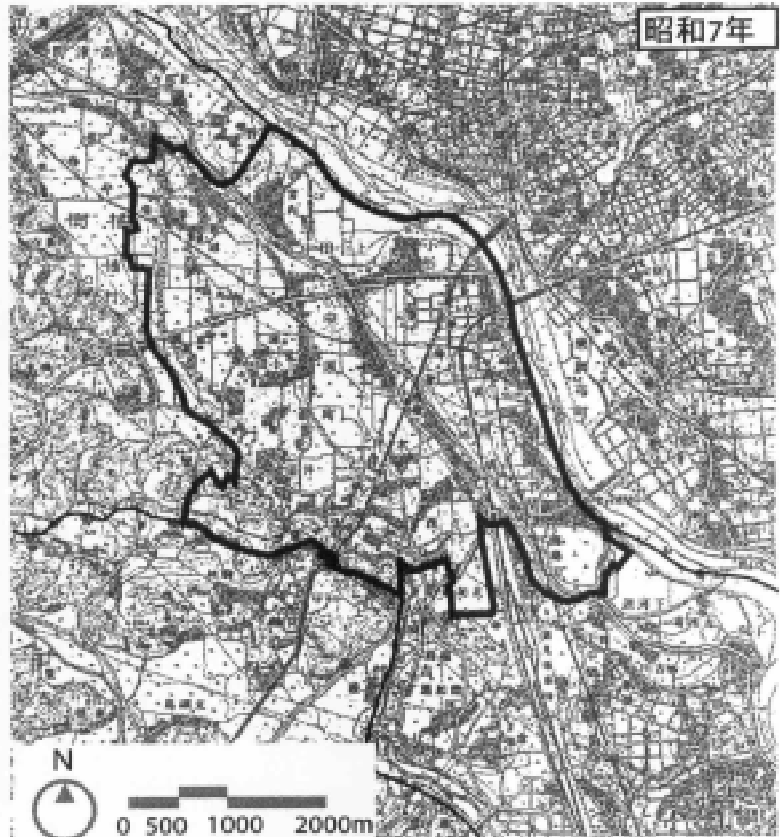
- 中原村、住吉村を合併し、中原町制を施行する。

(都市基盤整備)

- 溝口・川崎間（府中街道）に乗合馬車が走り小杉十字路に停車場ができる。
- 御幸村上平間から中原村上丸子に至る道兼用の有吉堤が竣工する。
- 東京横浜電鉄（現東急東横線）、丸子多摩川－神奈川駅間が開通する。
- 上平間地内にガス人道橋が開通する。
- 南武鉄道（現JR南武線）、川崎－登戸間が開通する。

(土地利用)

- 小杉に耕地整理出張所が設置される。
- 上平間第1耕地整理組合・中原町第2耕地整理組合・伊勢合耕地整理組合耕地整理施行。
- 新丸子、元住吉駅周辺で大規模な宅地造成が行われる。



(沿革)

- 中原町が川崎市に編入する。

(都市基盤整備)

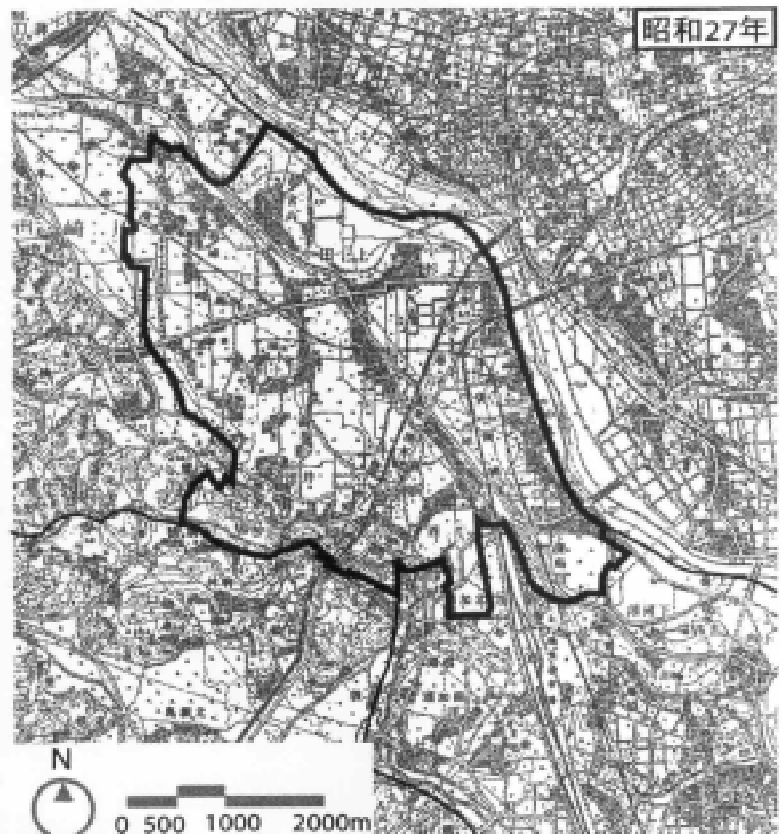
- 丸子橋が架橋される。
- 上平間に工業水道用の浄水場が完成する。

(土地利用)

- 中原二ヶ村耕地整理組合、住吉耕地整理組合耕地整理施行。
- 鋼板工業（株）（現不二サッシ）、（株）東京機械製作所、富士通信機製造（株）、三菱重工（株）東京機器製作所（現三菱自動車工業（株））の各企業の工場が立地する。

(その他)

- 市立井田伝染病院が開設する。
- 市営バスが新丸子駅－浜町3丁目間で初の営業を始める。

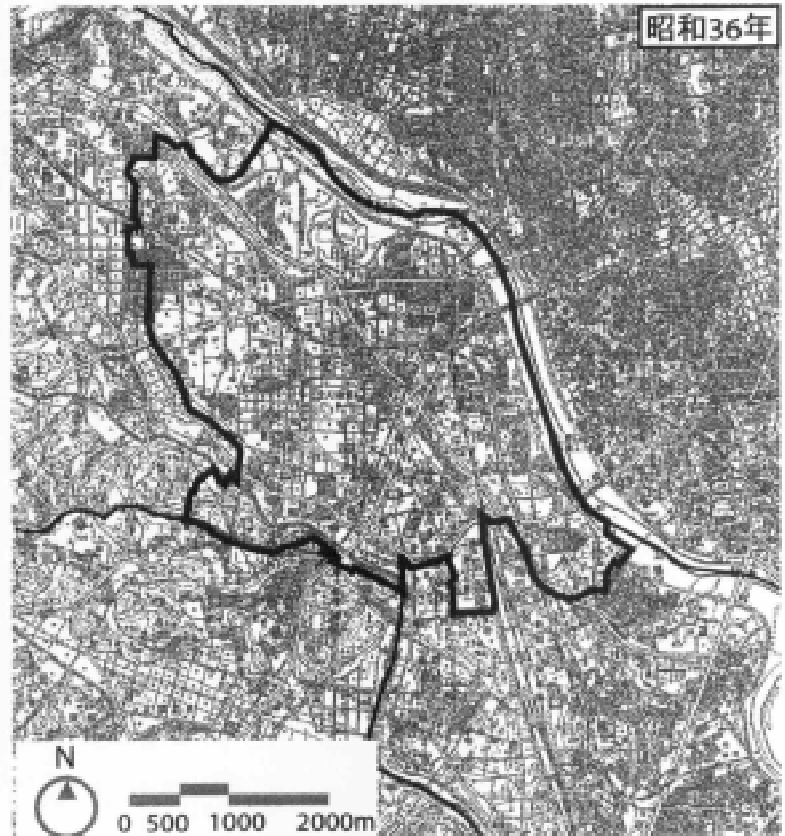


(土地利用)

- 戦時中の空襲によって一時衰退していた市街地が、戦後復興により徐々に回復している。
- 下小田中土地改良第1・2工区耕地整理施行。

(その他)

- 中原公民館が開館する。

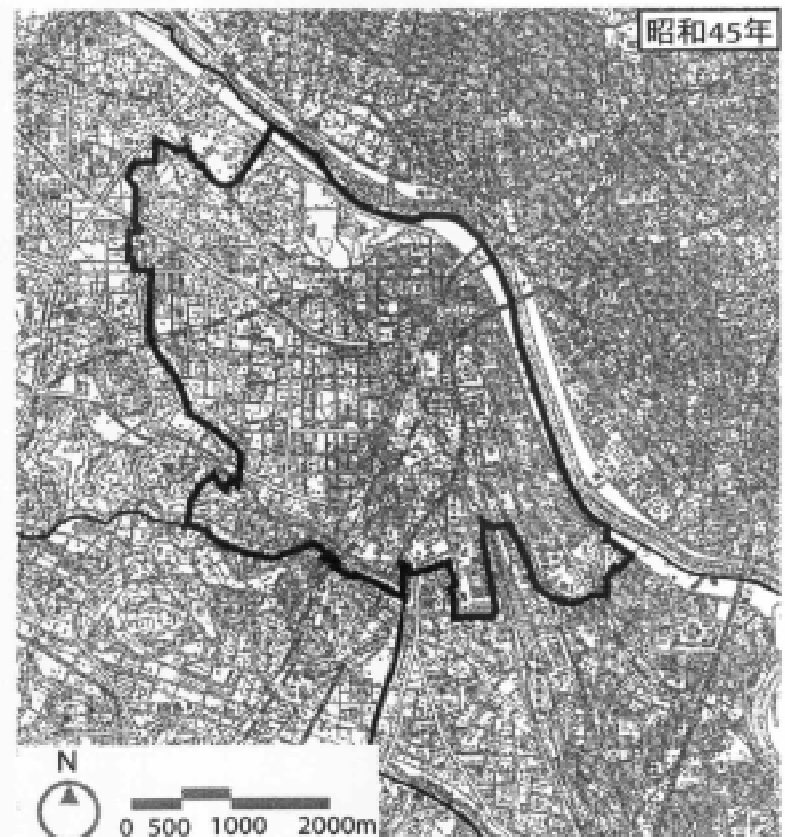


(都市基盤整備)

- 多摩沿線道路が全線開通する。

(その他)

- 市営等々力緑地に陸上競技場が完成する。



(沿革)

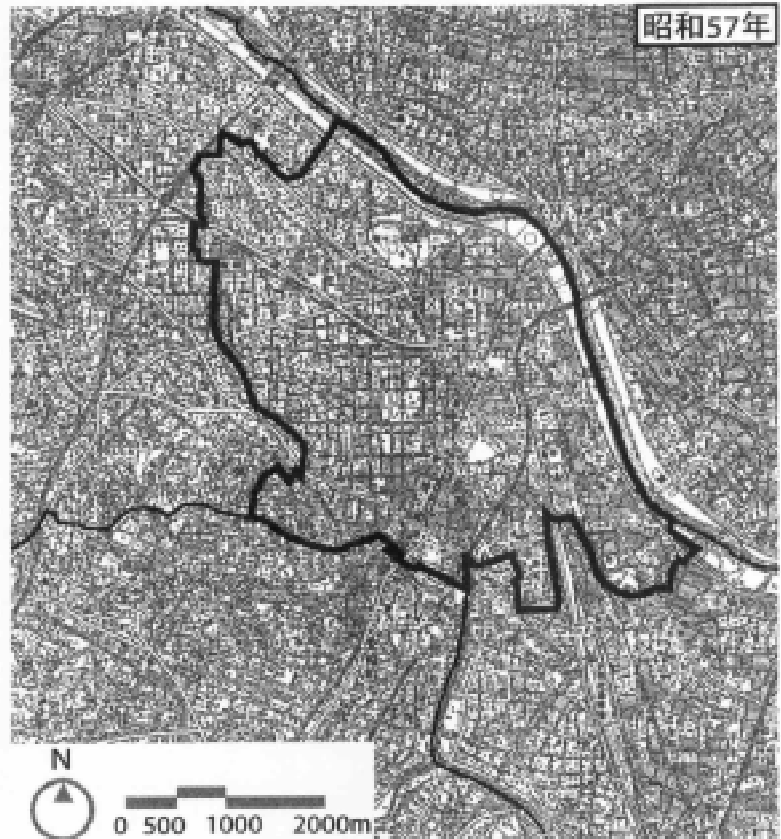
- 川崎市の政令指定都市移行に伴い、中原支所を改め、中原区役所とする。

(都市基盤整備)

- J R武蔵野南線が開通する。

(その他)

- 中原市民館が開館する。
- 中小企業・婦人会館が開館する。



(都市基盤整備)

- JR南武線、武蔵小杉～第三京浜間が高架化される。

(その他)

- 中原平和公園が開園する。
- 総合自治会館が開館する。
- 市民ミュージアムが開館する。
- 川崎市平和館が開館する。

<平成2年以降>

- (H6) 国際交流センターが開館する。
- (H7) とどろきアリーナが開館する。
- (H13) 東急目黒線が武蔵小杉～目黒間で運行を始める。

